

第289号 2011年 9月 1日
弘前大学総務部総務課

学術講演会・研究発表会・公開講座

「女性のためのよろず健康相談」事業のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科附属すこやかコミュニティ支援センターの「女性のためのよろず健康相談部門」では、保健師、助産師、看護師が地域連携の一環として相談窓口を開き、活動に取り組んでおります。

今回は、平成23年度第2回目として、ミニ講座と個人相談を行います。

「家族や自分の体調が気になる」「これって更年期の症状?」「最近尿もれが・・・」「育児で悩んでいることが・・・」など、様々な年代の女性が抱えるご心配に無料でお応えする機会です。ぜひお気軽にお出かけ下さい。

1. 日 時：2011年 9月 8日(木) 16:00～18:00
2. 内 容：ミニ講座 ①女性のための尿もれのお話し 16:00～16:20
②それって病気?更年期のさまざまな症状 16:30～16:50
個人相談 16:50～18:00
3. 場 所：弘前市まちなか情報センター2F
(弘前市大字土手町94-1)
4. 料 金：無 料

問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 健康支援科学領域
女性のためのよろず健康相談部門 代表 西野 加代子
電 話：0172-39-5995

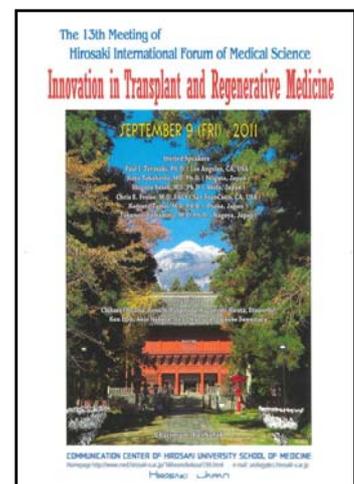
第13回弘前国際フォーラム開催のお知らせ

第13回弘前国際フォーラムを開催いたします。

今回のテーマは“*Innovation in Transplant and Regenerative Medicine*”とし、近年著しい進歩を遂げている移植再生医療の最先端の話題を取り上げ、現時点での問題点を探るとともに、更なる発展を目指して討議を展開します。

移植免疫の世界的オピニオンリーダーであるPaul I. Terasaki教授(Terasaki Foundation Laboratory, USA)、ABO血液型不適合腎移植のパイオニアである高橋 公太 教授(新潟大学)を始め、国内外から6名の第一線でご活躍中の先生方をお招きして講演して頂きます。

ポスターセッションも予定しておりますので、皆さま是非ご参加ください。



1. 日 時：2011年 9月 9日（金）
2. 場 所：弘前大学 医学部コミュニケーションセンター
3. 招待講演者：
- Paul I. Terasaki, Ph.D.
President, Terasaki Foundation Laboratory, CA, USA

Kota Takahashi MD., Ph.D.
Professor, Division of Urology, Dept. of Transplant and Regenerative Medicine,
Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, Niigata, Japan

Shigeru Satoh, M.D., Ph.D.
Professor, Division of Renal Replacement Therapeutic Science, Department of Urology,
Akita University Graduate School of Medicine, Akita, Japan

Chris E. Freise, M.D., FACS
Professor of Surgery, Transplant Division, University of California, San Francisco,
CA, USA

Katsuto Tamai, M.D., Ph.D.
Professor, Department of Stem Cell Therapy Science, Osaka University Graduate School
of Medicine, Osaka, Japan

Tokunori Yamamoto, M.D., Ph.D.
Associate Professor, Department of Urology, Nagoya University Graduate School of
Medicine, Nagoya, Japan

4. 学会サイト：
<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~hkforum/kokusai13th.html>

5. 実行委員：弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 先進移植再生学講座

問い合わせ先： 弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座
第13回弘前国際医学フォーラム事務局
電 話：0172-39-5091
FAX：0172-39-5092
E-mail：urology@cc.hirosaki-u.ac.jp

※第13回弘前国際医学フォーラム事前登録のご案内
弘前国際医学フォーラム 会長 佐藤 敬

事前登録期間：2011年 8月1日～2011年 9月 5日
参加費：2,000円
申し込み方法：参加費をお持ちの上、泌尿器科学講座受付までお越しください
(代理の方でも結構です。)

※フォーラム当日の受付での混乱を避けるため、事前登録へのご協力をお願いいたします。

PROGRAM		
September 9 (Friday)		
Registration and Poster viewing		1st Floor
8:00		
Opening Remarks	Kei Satoh (Hirosaki University, Japan)	2nd Floor Hall
10:20-10:30		
Symposium I	Chairpersons: Ken Inoh & Norihisa Kamimura	2nd Floor Hall
S-I-1	10:30-11:30 Katsuto Tamai (Osaka University, Japan)	
S-I-2	11:30-11:50 Tokunori Yamamoto (Nagoya University, Japan)	
Poster view and Lunch		1st Floor
11:50-13:00	☺ Lunch and beverage will be provided.	
Symposium II	Chairpersons: Shigeru Narumi & Keisichi Hokosaka	2nd Floor Hall
S-II-1	13:30-14:20 Chris E. Freise (University of California, San Francisco, CA, USA)	
S-II-2	14:20-15:00 Shigeru Satoh (Akita University, Japan)	
Coffee Break	15:00-15:15	
Symposium III	Chairpersons: Chiharu Ohyama & Masao Suzuki	2nd Floor Hall
S-III-1	15:15-16:15 Kota Takahashi (Niigata University, Japan)	
S-III-2	16:15-17:15 Paul I. Terasaki (Terasaki Foundation Laboratory, Los Angeles, CA, USA)	
Closing Remarks	17:15-17:20 Kei Satoh (Hirosaki University, Japan)	2nd Floor Hall

平成23年度保健学研究科大学院FD講演会のお知らせ

臨床研究に関する倫理への理解を深め、申請書作成に当たっての注意点などについてご講演をいただきます。多数の参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年 9月13日（火） 17:40～19:10
2. 会 場：弘前大学保健学研究科第24講義室（6F）
3. 演 題：人を対象とした研究で留意すべき点について —特に倫理審査を受ける場合—
4. 講 師：黒田 直人 弘前大学医学研究科法医学講座教授（医学研究科倫理委員会委員長）
5. 主 催：弘前大学大学院保健学研究科FD委員会

問い合わせ先： 弘前大学保健学研究科 中野 京子
電 話：0172-39-5965
E-mail：n1220@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院保健学研究科 第3回 緊急被ばく医療国際シンポジウムの開催のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科では、原子力災害時における緊急被ばく医療について世界的な視野から討議することを目的に、第3回緊急被ばく医療国際シンポジウムを開催しますのでお知らせします。

1. 日 時：2011年 9月17日（土）9:30～16:30
2. 場 所：弘前大学大学院保健学研究科 24講義室（6階）
3. テーマ：「放射線被ばくにおける線量評価と防護」
4. プログラム：

◇開会あいさつ [9:30～9:40]

◇セッション1：

弘前大学の緊急被ばく医療への取り組み [9:40～10:40]
座長 桑原 幹典（弘前大学客員教授）

- 福島原子力災害への取り組み 床次 眞司 教授（被ばく医療総合研究所）
- 環境放射線 細田 正洋 助教（大学院保健学研究科）
- 原子力災害時の看護活動 野戸 結花 准教授（大学院保健学研究科）

◇セッション2：

国内外の緊急被ばく医療と福島事故 [11:00～12:00]
座長 吉田 光明（被ばく医療総合研究所 教授）

- 放射線医学総合研究所の緊急被ばく医療対応と福島事故 富永 隆子（放射線医学総合研究所）
- 国際原子力機関の緊急被ばく医療対応と福島事故 Dr. Pat Kenny（IAEA）



◇セッション3：

ポスターセッション [13:30～14:30]

●保健学研究科教員 ほか

◇セッション4：

放射線被ばくにおける線量評価と防護 [14:30～16:30]

座長：近藤 隆 (富山大学)

座長：柏倉 幾郎 (大学院保健学研究科)

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| ● PCC法による染色体変異解析 | 三浦 富智 講師 (大学院保健学研究科) |
| ● 放射線防護剤 | 安西 和紀 教授 (日本薬科大学) |
| ● 被ばく線量評価のバイオマーカー | Dr. N.I. Ossetrova (AFRRI) |
| ● 放射線防護剤 | Dr. M.H. Whitnall (AFRRI) |

◇閉会あいさつ [16:30～]

5. 主 催：弘前大学大学院保健学研究科
6. 共 催：弘前大学被ばく医療総合研究所、
弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」
7. 後 援：独立行政法人放射線医学総合研究所

※事前のお申込みは不要です。直接会場へお越し下さい。発表は英語で行います。

問い合わせ先： 弘前大学保健学研究科総務グループ
電 話：0172-39-5905
F A X：0172-39-5912
E-mail：jm5905@cc.hirosaki-u.ac.jp

2011年度大学生の就業力育成支援事業中間報告会開催のお知らせ

弘前大学大学生の就業力育成支援事業は、文部科学省「大学生のための就業力育成支援事業」の取り組みの一環として実施される授業で、地域企業と連携して課題解決型学習を実施し、学生の企画提案力を育成するとともに、地域における雇用機会の拡大を目指し実施するものです。

地域企業との対話を通して培う企画提案力というテーマのもと、地域企業の抱える経営課題を素材に学生独自のアイデアで企画・提案を行っています。

今回の報告会では、学生と連携企業とのこれまでの活動を中間報告として発表し、皆さんからの意見をいただきたいと思います。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年 9月30日 (金) 13:00～16:00
2. 会 場：弘前大学創立50周年記念会館 2階 岩木ホール
3. 議 題：学生の活動の中間報告

～連携企業～

- ・ベストウェスタンニューシティホテル弘前
- ・道の駅ひろさき サンフェスタいしかわ
- ・企業組合 での・そ〜れ
- ・ブナコ漆器製造株式会社
- ・社団法人弘前観光コンベンション協会
- ・株式会社小林紙工

4. 参加対象：本学学生、教職員及び企業関係者

5. 参加費：無 料

※参加人数確認のため、2011年 9月12日（月）までに申し込み願います。

6. 主 催：国立大学法人弘前大学

問い合わせ先： 弘前大学人文学部 就業力育成事業事務局（総合教育棟2階）
電 話：0172-39-3978（担当：成田 佳子）
E-mail：gp@cc.hirosaki-u.ac.jp

第5回 GERG研究会公開シンポジウム開催のお知らせ

第5回シンポジウムの開催が下記の通り、決定致しました。

1. 日 程：2011年10月 5日（水）
14：00～17：30
2. 場 所：弘前大学医学部コミュニケーションセンター
3. 共 催：財団法人鷹揚郷 腎研究所
4. プログラム

会長挨拶：西村 紳一郎 教授
（北海道大学大学院先端生命科学研究院）

当番世話人挨拶：大山 力 教授（弘前大学大学院医学研究科泌尿器科学講座）

来賓ご挨拶：遠藤 正彦 学長（弘前大学）

基調講演：14：15～15：05

福田 穰 教授（Sanford-Burnham Institute）

「Upregulation of α -dystroglycan-mediated cell adhesion and tumor suppression by down regulation of Fer tyrosine kinase signaling」

招待講演：15：05～15：45

中山 淳 教授（信州大学大学院医学系研究科分子病理学分野）

「胃癌発生における胃腺粘液糖鎖の役割」

コーヒーブレイク&ポスターディスカッション 15：45～16：30



講演：16:30～17:30

- 1) 柿崎 育子 准教授
(弘前大学大学院医学研究科附属高度先進医学研究センター 糖鎖工学講座)
「プロテオグリカンの糖鎖プロファイリングへのアプローチ」
- 2) 坪井 滋 部長
(鷹揚郷腎研究所 生化学研究部)
「細胞表面のO-glycanを利用した癌細胞の新しい免疫逃避機構」
- 3) 西村 紳一郎
(北海道大学大学院先端生命科学研究院・医化学創薬合同会社)
「糖鎖医薬品の研究開発を支援する新技術・デバイス」

閉会挨拶：GFRG研究会副会長 吉川 浩二 (ID Business Solutions Ltd.)

懇親会 シンポジウム終了後1時間半(18:00～19:30)を予定しております。

5. 参加費：GFRG会員(無料)、非会員(5,000円)
6. 懇親会：事前登録が必要(3,000円)
7. 詳細：<http://www.gfrg.org>

問い合わせ先： GFRAG研究会事務局
〒113-0033
東京都文京区本郷5丁目1-16 NP-IIビル2F
サイエンス・テクノロジー・システムズ株式会社内
E-mail: info@gfrg.org

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会(附属図書館内)
電 話：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail: hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

http://www.janu.jp/active/7janu_quarterly_report.html

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当: 総務部総務課広報・支援グループ

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp、Fax: 37-6594、内線: 3012